（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援サービスゆれる

公表日 2026年2月26日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	子どもたちがのびのび安全に過ごせるように考えています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	子どもたちの年齢や発達、個性に合わせて職員を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリーや情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	2	構造化された環境にしていますが、さらなる改善に試みたいと考えています。	本やDVDなど日常的に手にとるものをもっと整理整頓しやすくするなど改善したい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	3	1	動物の出入りもあるため注意し配慮はしていますが、継続して努力が必要だと考えている。	毎日の掃除を習慣化し行っていますが、発達支援の子どもたちが片付けやすいよう工夫したい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	子どもたちのその日の心理状況によって個別の部屋を使用できるようにしています。	より過ごしやすい個別の対応ができるように環境の整備を行って行きたい。
業務改善	6	業務改善を進めるため PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	全員の職員が同じ情報をもてるように常に公開する仕組みの中で運営を行っています。	
	7	保護者向け評価票により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0		自己評価の好評のタイミングでの公開通知をSNSなどで行うかどうか検討します。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	職員の意見は常に把握できる状況と環境が作れるようにしています。日々常に改善を求めていく姿勢で業務に携わっています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2	他の事業所のかや専門家に情報を公開したり、情報交換を行って改善に努めています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	職員の資質は支援の肝になります。福祉支援のみならず、学校教育や社会における問題についても情報を収集できるよう研修やドキュメンタリー映画、読書の推奨を行っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	4	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0	児童発達支援管理責任者と担当スタッフを中心に支援計画を作成し、職員全員で把握、議論を行っています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	児童発達支援管理責任者と担当スタッフを中心に支援計画を作成し、職員全員で把握、議論を行っています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容を踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0		様々な多角的視野からの支援によるプログラムの充実をより一層行えるように本年度職員間で議論していき図ったい
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	毎日のミーティングやチーム全体で支援プログラムの工夫を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	動物介助での支援のため固定化されない環境を作っていることで、固定化せず日々変化のある活動をすることができている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や留意分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	その日の出来事について、簡潔情報を公開する仕組みをとっており、終了後の報告や気づいたれ、改善の提案を相時行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	記録を日々とり、職員間で支援の検証や改善を行っている。意見交換や議論を高め、相談しやすい環境に努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	小学校、中学校など学校との連携を行っており、様子について定期報告を行ったり、見学や調査など協力を行っている。	
	28	（28～30は、センターのみ回答）				
		地域の他の児童発達支援センター や障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	（自立支援）協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答）				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	3	1	地域の事業所間連絡会議などに出席したり、行事への参加を行っている。相談事業所からの紹介や相談に適宜対応している。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	4		他の子どもたとの交流の場があまりないため、今度どのような交流が期待できる仕組みします。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	日々の子どもの様子や変化を保護者のかへ伝え合用ことができています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	月に一回講で保護者様で参加できる勉強会を開催しています。オンラインでも参加可能な対応をとっております。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	お忙しい保護者様のニーズに合わせてスケジュールを組んだりZOOMなどで対応することもしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	4	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	保護者様が気軽に職員に相談できるような仕組みやりを行っている。面談も相談だけではなく様々な手法を使用できるよう工夫。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい児と交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	0		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	保護者様からの相談や要望は常に対応している。寄り添うだけではなく双方の成長に繋がる回答ができるよう議論を行っている。	
	41	定期的に通信を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	SNSで活動の情報公開を行い、保護者のかたそれらが閲覧できるようにしている。個別での写真の送付も行う。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	0	事業所での行事を行う際は、地域の皆さんにも声をかけて参加していただいている。また逆に地域の行事にも子どもたちみんなで参加している。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		保護者に家族皆さんにマニュアルの周知を徹底することは難しいが、訓練の報告などを通じて事例を挙げて分かりやすくお伝えしたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分されたなかで支援が行われているか。	4	0		日々の安全管理だけではなく、安全計画の定期的な見直しを行えるように職員間で議論を行いたい。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	4	0	一番はじめに保護者様との見学の際から、支援の内容や環境による説明、安全に基づいた支援となるかどうかの周知と議論を行う。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	ヒヤリハットに出会ったときはその場で職員間で報告をするようにしている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	社会で明らかになるニュースや情報を職員間で共有しあったり研修の受講に努めている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0	いかなるときも身体拘束は行わないが、本人の安全を第一に行動することを常に心がけている。	